

講義コード	1077	科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	ニホンノコユウブンカ II	(フリガナ)	
授業科目名	日本の固有文化Ⅱ①⑩	担当教員名	小川 祐喜子
英文授業科目名	Japanese Unique culture II		
基準年次(開講期)	2年(後期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	火 5 限/ 池袋, 木 2 限/ 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	文化資本 記号 イベント 結婚 労働		
授業概要・目的	文化とは実体のない理念、信念、価値、実態のあるモノ、シンボルから構成されている。それらは、ひとつひとつの相互作用から構成されている。そこで本講義では、日本社会における日常生活の文化を題材に、社会学を道具に使用しながら、日本社会の文化を見ていく。		
到達度評価の評価項目	①講義内で使用した社会学理論、社会学概念を理解する ②社会学理論、社会学概念を使用して、普遍とされている日本文化を理解する。		
授 業 計 画			
第 1 回	文化と社会① 文化概念と文化の意味		
第 2 回	文化と社会② 相互作用からみる文化と社会		
第 3 回	文化と社会③ 自己・他者からみる文化と社会		
第 4 回	イベントからみる文化① 消費文化とイベント		
第 5 回	イベントからみる文化② 脱日常と非日常からみるイベント		
第 6 回	イベントからみる文化③ 他人指向型社会からみるイベント		
第 7 回	労働・結婚・文化① 排除型社会における労働		
第 8 回	労働・結婚・文化② 自己実現と労働		
第 9 回	労働・結婚・文化③ 排除せれる若者		
第 10 回	労働・結婚・文化④ 恋愛至上主義における結婚		
第 11 回	労働・結婚・文化⑤ 婚活・労働・文化		
第 12 回	ディズニー社会と文化① ディズニーゼーションと社会・文化		
第 13 回	ディズニー社会と文化② 日本社会とディズニーゼーション		
第 14 回	ディズニー社会と文化③ 日常生活にみる 4 つの次元		
第 15 回	まとめ 社会学からみる日本文化		
教科書・参考書等	講義内で紹介します。		
授業で使用する機器等	配布資料を用意する。配布資料は、iPad で映し出し書き込みながら授業を進行していく。		
予習・復習へのアドバイス	講義内で行ったことは、必ず復習をすること。		
履修上の注意・受講条件等	とくになし		
成績評価の基準等	出席 50% 試験 50%		
メッセージ	講義中の私語、スマホ使用は禁止とします。		
オフィスアワー	メールで対応していきます。質問などは、以下のメールアドレスにご連絡下さい。toki1124yuki@yahoo.co.jp		
その他			